

暗唱のすすめ 百人一首編⑫

五十六

あらざらむこの世のほかの思ひ出に
いま あつ おもいで
今ひとたびの逢ふこともがな

和泉式部
いずみしきぶ

五十七

めぐりあひて見しやそれともわかぬ間に
くも いみ ま
雲がくれにし夜半の月かな

紫式部
むらさきしきぶ

五十八

ありまやまいな ささはら かぜふ
有馬山 猪名の笹原 風吹けば
ひと わす
いでそよ人を忘れやはする

大弐三位
だいにのさんみ

五十九

やすらはず寝なましものを さ夜更けて
ワ ね よふ
かたぶくまでの月を見しかな

赤染衛門
あかぞめえもん

六十

おおえやま の みち とお
大江山 いく野の道の遠ければ
あま はしだて
まだふみもみず 天の橋立

小式部内侍
こしきぶのななし